

千葉商科大学 プレスリリース

CUC公開講座 in 丸の内 2019

「SDGsの推進と大学の役割」

第3回

SDGsを考慮したUSR(大学の社会的責任)

千葉商科大学(学長:原科幸彦)では、社会貢献活動の一環として、「SDGs(持続可能な開発目標)」を全体テーマとした公開講座を開講しています。本講座はどなたでも参加いただけます。どうぞ奮ってご参加ください。

◆第3回講座概要：<テーマ> SDGsを考慮したUSR(大学の社会的責任)

SDGsを考慮したUSR活動を評価するための指標/KPIの策定をめざして研究を行う教員・学生チームが、今年6月末までの進捗状況を報告します。現在、4つの中核課題：(1)学生生活の改善、(2)地域社会との繋がり、(3)環境問題への取り組み、(4)研究教育について検討を行っており、いずれは大学界で使用される指標となることをめざしています。

報告を踏まえ、大学の主要ステイクホルダーのうち、学生・教職員、企業、行政、メディアの各視点から、どのように受け止めたか、期待や今後の課題等についてディスカッションし、さらに、それらの内容を踏まえて、企業CSRの経験およびSDGsに関する知見をもつ専門家からコメントをいただくワークショップスタイルで実施します。

◆2019年度のCUC公開講座について

ビジネス界を中心にSDGsの推進が進む中、教育分野にも期待が高まっています。なかでも大学は、持続可能な成長をリードする未来型人材の育成や多角的な研究を生かして、地域、自治体、企業、教育機関等とも連携しながらSDGsに取り組んでいます。

本講座では、全9回に亘り、SDGs時代の大学の在り方やSDGsへの取り組み事例などを紹介し、有識者によるお話を交えながら、SDGsの目標すべてにつながる大学教育の役割を学びます。

◆CUC公開講座 in 丸の内 2019 [第3回]

【テーマ】SDGsを考慮したUSR(大学の社会的責任)

【プログラム(登壇者)】USR活動を評価する指標に関する研究報告(本学教員、学生)／研究報告に基づくステイクホルダーダイアログ(西村直氏(市川市企画部企画課主幹)、川島俊介氏(市川市環境部循環型社会推進課次長)、笹谷秀光氏(社会情報大学院大学客員教授／伊藤園元取締役)、拝原泰介氏(日刊工業新聞社東京支社長)、内田茂男(千葉商科大学理事長)、佐藤哲彰(千葉商科大学地域連携センター副センター長)、ほか研究報告者)

【日時】2019年7月26日(金) 14:00~16:00 (受付13:30~)

【会場】丸の内サテライトキャンパス〈有楽町国際ビル1階(お堀側)〉 ※公共交通機関をご利用ください。

【定員】各回50名(先着順)

【申込締切】各回前日15:00まで

【申込方法】CUC公開講座Webページの申込フォームよりお申し込みください。

CUC公開講座 2019

検索

【問い合わせ先】千葉商科大学学長事務室 [TEL]047-373-9797 [E-mail] p-office@cuc.ac.jp

千葉商科大学「学長プロジェクト」では、以下4チームに分かれ、各テーマに沿った取り組み・研究を行い、持続可能な社会づくりや大学としてSDGsへ貢献することをめざしています。

詳細はWebサイトへ▶



[PJ1] 会計学の新展開

[PJ2] CSR研究と普及啓発

[PJ3] 安全・安心な都市・地域づくり(Resilience)

[PJ4] 環境・エネルギー(Sustainability)

CUC
Chiba University of Commerce

千葉商科大学

www.cuc.ac.jp